

日本沙漠学会
沙漠誌分科会 2015（平成 27）年度総会

平成 27 年 5 月 24 日（日） 11:45-12:45

カレッジプラザ（秋田市）

次 第

開 会

会長挨拶（牛木会長）

議 事

1. 運営体制について
2. 平成26年度活動報告・決算報告
3. 平成27年度活動計画(案)・予算(案)
4. その他

閉 会

1. 運営体制について

平成 26 年度をもって、牛木久雄・現分科会長が職を辞することとなった。後任として、縄田浩志・現事務局長が全運営委員の推薦を受け、これにともない事務局長の仕事は、現・事務局担当補佐の渡邊三津子が引き継ぐことが提案された。

当該人事は、2015 年 5 月 24 日（日）の沙漠誌分科会総会にて承認を得ることについて、運営委員会より提案された。

2. 2015（平成 26）年度沙漠誌分科会活動報告・決算報告

（2015 年 3 月 31 日現在、登録者数：65 名）

分科会会長：牛木久雄（元国際協力機構国際協力専門員）

連絡先（事務局）：縄田浩志 〒010-0851 秋田市手形学園町 1-1 秋田大学国際資源学部
Tel: 018-889-3256（直通）、 E-mail: nawata@gipc.akita-u.ac.jp

2.1. 運営

組織

事務局

分科会長：牛木久雄

事務局長：縄田浩志

事務局担当補佐：（主担）渡邊三津子・（副担）宮寄英寿

運営委員

財務委員（※委員長）：石山 俊※、石本雄大

広報委員（※委員長）：渡邊三津子※ 古澤文

編集委員（※委員長）：古澤文※、宮寄英寿

企画委員（※委員長）：宮寄英寿※、石山俊、遠藤仁、杉原 創

2.1.2. 総会

2014 年 6 月 1 日 東京都市大学で開催された日本沙漠学会第 25 回学術大会において、平成 26 年度沙漠誌分科会総会を開催した。

2.2. 研究活動

2.2.1. 研究会・シンポジウム

(1) 2014 年 12 月 13 日（土）、総合地球環境学研究所にて、沙漠誌分科会研究会／南アジアの生業研究会第 4 回研究会「世界の半乾燥地における家畜糞利用」を開催した。遠藤 仁（総合地球環境学研究所）「家畜糞の燃料としての利用についてーインド北西部の事例」、

小磯 学 (神戸夙川学院大)「ヒンドゥー教における牛糞の儀礼的意味と利用」、小茄子川歩 (東海大学)「インド・ハリヤーナー州における牛糞燃料の多角的利用方法について：ラキー・カース村とラキー・シャプール村の事例から」、上羽陽子 (国立民族学博物館)「家畜糞の染色利用についてーインド西部カッチ県の事例から」、宮寄英寿 (総合地球環境学研究所)「土を肥やすためにーインド北西部半乾燥地域の事例から」、包 海岩 (名古屋大学)「内モンゴルの家畜糞利用について」の 6 発表の後、田中 樹 (総合地球環境学研究所)、平田昌弘 (帯広畜産大学) からコメントがなされた。(以上、敬称略)

(2) 2015 年 01 月 31 日 (土)、総合地球環境学研究所にて、研究会「熱帯地域における酒と発酵食品」を開催した。久保亮介 (京都大学)「サブサハラアフリカにおける酒造りの地域間比較研究ータンザニアおよびカメルーンの農村を事例として」、砂野 唯 (京都大学)「モロコシ酒を主食とする人々の生活と社会ーエチオピア南部に暮らすデラシャとコンソの事例ー」、山本雄大 (河北印刷株式会社)「エチオピアの平焼き発酵パン“インジェラ”の発酵と利用」、古澤礼太 (中部大学)「ガーナ共和国ガ民族の発酵食文化」、Muniandi Jegadeesan (タミルナードゥ農業大学)「Transformation of traditional fermented food in South India」の 5 発表の後、縄田浩志 (秋田大学)、石井智美 (酪農学園大学) からコメントがなされた。(以上、敬称略)

(3) 2015 年 2 月 21 (土)、シンポジウム「中東地域の水資源と環境ー伝統と変容、過去から未来へー」を開催 (共催) した。岡村知明 (国士舘大学イラク古代文化研究所共同研究員)「インドの歴史的居住環境と水利建造物ーカティアワール地方・マングロール市の調査報告より」、竹村和朗 (東京大学大学院総合文化研究科博士後期課程)「エジプトにおける水資源開発と国家：トシュカ計画の事例から」、の 2 発表に対し深見奈緒子 (早稲田大学イスラーム地域研究機構招聘研究員) からコメントがなされた。続いて、佐藤尚平 (金沢大学人間社会研究域法学系准教授)「アブダビ調査報告」、吉村武典 (早稲田大学イスラーム地域研究機構次席研究員)「エジプト調査報告」、縄田浩志 (秋田大学国際資源学部教授)「地球の未来への要としての水ー「貧而無怨難、富而無驕易」の 3 発表に対して、牛木久雄 (一般財団法人片倉もとこ記念沙漠文化財団代表理事) よりコメントがなされた。(以上、敬称略)

2.2.2. 沙漠研究小特集

2014 年度に開催された研究会「世界の半乾燥地における家畜糞利用」、「熱帯地域における酒と発酵食品」について、それぞれ 2015 年度中の沙漠研究小特集掲載に向けて査読を実施中。

2.3. 情報発信

2.3.1. ホームページ

2013 (平成 25) 年度に開設したホームページ (URL <http://sabakushi.com/index.html>)

を用いて随時研究会情報などを公開している。

2.3.2. ニュースレター

2014年4月9日に第2号を、2015年1月27日に第3号をオンライン発行した。なお、ニュースレターは、ホームページ内(<http://sabakushi.com/publish.html>)で公開している。

2.3.3. メーリングリスト

2013(平成25)年度に再作成したリストを元に、研究会開催案内や、ニュースレター発行情報の発信等の情報共有を行っている。なお、メーリングリストは新規会員を加えて随時更新している。

2.4. 決算

決算書 (資料1) 参照

3. 平成27年度沙漠誌分科会活動計画

3.1. 運営

3.1.1. 組織

分科会会長：縄田浩志 (秋田大学国際資源学部)

〒010-0851 秋田市手形学園町1-1 秋田大学国際資源学部

連絡先(事務局)：渡邊三津子 (奈良女子大学共生科学研究センター)

〒630-8506 奈良市北魚屋東町

奈良女子大学コラボレーションセンター107室

Tel: 0742-20-3687 (共同)、E-mail: sabakushi.C@gmail.com

事務局

分科会長：縄田浩志

事務局長：渡邊三津子

事務局担当補佐：宮寄英寿

運営委員

財務委員 (※委員長)：石山 俊※、石本雄大

広報委員 (※委員長)：渡邊三津子※ 古澤文

編集委員 (※委員長)：古澤文※、宮寄英寿

企画委員 (※委員長)：宮寄英寿※、石山俊、遠藤仁、杉原 創

3.1.2. 総会

2015年5月24日(日)、秋田大学で開催される第26回日本沙漠学会学術大会会期中に、沙漠誌分科会2015年度総会を開催予定。

3.2. 研究活動

3.2.1. 研究会・シンポジウム

- (1) 2015年5月16日(土)・17日(日)に京都大学・稲盛財団記念館大会議室で開催される公開シンポジウム「家畜化と乳利用 その地域的特性をふまえて一搾乳の開始をめぐる谷仮説を手がかりにして」を後援予定。
- (2) 国際土壌年2015に関連して、土壌と生業に関する研究会もしくはシンポジウムを企画予定。
- (3) 2016年1月~2月をめどに研究会「ポストソ連時代の中央アジア半乾燥域における経済ネットワークの再構築と農業の現代的変容(仮)」を開催予定。
- (4) その他 分科会メンバーからの企画案は随時募集する。

3.2.2. 沙漠研究小特集

2014年度に開催された研究会「世界の半乾燥地における家畜糞利用」、「熱帯地域における酒と発酵食品」について、それぞれ2015年度中の沙漠研究小特集掲載に向けて査読を実施中。また、2015年度開催予定の研究会についても、小特集を組む予定。

3.3. 情報発信

ホームページ、ニューズレター、メーリングリストなどを用いて、情報発信を継続する。

3.4. 予算(案)

資料2参照

4. その他

資料 1

平成26年度沙漠誌分科会決算報告

(単位:円)

	費用	決算額	予算額	対予算額増減	摘要
収入の部	前年度繰越金	0	0	-	
	分科会交付金	30,000	30,000	0	
	合計	30,000	30,000	0	
支出の部	会議運営費	0	10,000	10,000	研究会同時通訳謝金 ※共催機関より充当
	会議出張旅費補助	0	11,885	11,885	通訳者旅費補助 ※共催機関より充当
	情報発信関連費(1) ※ニュースレター関連	0	0	0	
	情報発信関連費(2) ※ホームページ関連	23,335	8,115	-15,220	HP用サーバーレンタル(消費税差額 分含)5211、請求書発行324、HP 用ドメイン1852、請求書発行324、 振込手数料324、ホームページ編 集ソフト15,300
	合計	23,335	30,000	6,665	

資料 2

平成27年度沙漠誌分科会予算案

(単位:円)

	費用	予算額	前年度決算額	対前年度額増減	摘要
収入の部	前年度繰越金	6,665	0	-6,665	
	分科会交付金	30,000	30,000	0	
	合計	36,665	30,000	-6,665	
支出の部	会議運営費	10,000	10,000	0	会議運営補助謝金
	会議出張旅費補助	18,550	11,885	-6,665	報告者等旅費補助
	情報発信関連費(1) ※ニュースレター関連	0	0	0	
	情報発信関連費(2) ※ホームページ関連	8,115	8,115	0	HP用サーバーレンタル 5000、HP用ドメイン 1800、請求書発行 315*2
	合計	36,665	30,000	-6,665	